

■指標

種類	指標名	単位	説明		平成21年度	平成22年度	平成23年度
活動指標	庁舎玄関側清掃	回	庁舎玄関側の清掃を週一回実施する。	目標	51	51	52
				実績	51	49	
成果指標	福祉・送迎バスの定期点検	回	法廷点検3回/年 車検1回/年	目標	4	4	4
				実績	4	4	
	苦情回数	回		目標	0	0	0
				実績	0	0	
故障回数	回		目標	0	0	0	
			実績	0	0		

■事務事業の点検

必要性の点検	
<input checked="" type="checkbox"/>	法定受託事務であるなど、市が実施する義務がある
<input type="checkbox"/>	事業を休廃止した場合、市民生活(行政サービスの提供)に深刻な影響が発生する
<input type="checkbox"/>	社会情勢の変化を踏まえても十分なニーズがある(ニーズを説明できる)
【必要性 Total判定】	
<input checked="" type="radio"/>	A:高い(義務)
<input type="radio"/>	B:普通
<input type="radio"/>	C:低い
<Total判定の根拠など、必要性に関する補足説明>	
庁舎利用の安全性を確保するために適切な維持管理を行う。また、福祉バス・公用車の安全点検を行う。	
目標達成状況の点検	
<input checked="" type="checkbox"/>	活動に関する昨年度の目標は概ね達成できた
<input checked="" type="checkbox"/>	成果に関する昨年度の目標は概ね達成できた
<input type="checkbox"/>	「取り組み方針(改善方針)」など指標に表れない事項について昨年度の目標は達成で
【目標達成状況 Total判定】	
<input type="radio"/>	A:目標よりも大きな成果が得られた
<input checked="" type="radio"/>	B:概ね目標の成果が得られた
<input type="radio"/>	C:目標とする成果が得られなかった
<Total判定の根拠など、目的達成状況に関する補足説明>	
庁舎の清掃及び花や植栽等の庁内管理に努めた。また、福祉バスについては日常の整備管理を徹底するとともに、交通法規を遵守し事故がないよう安全運転を心がけた。	
実施内容・方法の点検	
<input type="checkbox"/>	社会情勢やニーズの変化等を踏まえると、サービス対象・水準を見直す必要がある
<input type="checkbox"/>	当該事業の受益者が特定の個人や団体に偏っている
<input type="checkbox"/>	民間事業者やNPOなどに任せられる業務がある
<input checked="" type="checkbox"/>	コストを下げる工夫が考えられる
<input type="checkbox"/>	成果を高める工夫が考えられる
【実施内容等 Total判定】	
<input type="radio"/>	A:見直す余地があり直ぐに実施
<input checked="" type="radio"/>	B:見直す余地があるが時間が必要
<input type="radio"/>	C:見直す余地がない
<Total判定の根拠など、実施内容・方法に関する補足説明>	
福祉バスの運行業務について、福祉バスの老朽化及び運転手の退職等に伴い民間への委託を検討する。	

■課題と対応方策

課題	福祉バス(大型)の民間委託と市福祉バス使用要綱の見直し及び予算措置。
次年度における対応方策(改善方策)	福祉バス(大型)借上料を担当課へ予算措置する。また、福祉バスの使用要綱の一部改正、事務分掌の見直しをする。
中長期的な視点での対応方策(改善方策)	霞庁舎にある福祉バスを含めて、市の福祉バスに対する考え方の検討が必要となる。

■今後の方向性

一次評価【課長評価】	
評価者	課長 石塚英幸 担当課名 検査管財課
事業の方向性	<input type="radio"/> このまま継続 <input checked="" type="radio"/> 改善して継続 <input type="radio"/> 休廃止(年後を目処) <input type="radio"/> 終了
事業費の方向性	<input type="radio"/> 増額 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減額
次年度の取組方針(改善方針)	庁舎修繕に伴い、蛍光灯のLED化及び空調の統一化を図り、節電・節減に努める。

二次評価【部長評価】

部長名	横瀬典生	担当部名	総務部
確認	<input checked="" type="checkbox"/> 確認		

■指標

種類	指標名	単位	説明		平成21年度	平成22年度	平成23年度
活動指標	入札監視委員会の開催	回	年2回	目標	2	2	2
				実績	2	2	
成果指標	入札の透明性の確保			目標	無し	無し	無し
				実績			

■事務事業の点検

必要性の点検	
<input checked="" type="checkbox"/>	法定受託事務であるなど、市が実施する義務がある
<input type="checkbox"/>	事業を休廃止した場合、市民生活(行政サービスの提供)に深刻な影響が発生する
<input type="checkbox"/>	社会情勢の変化を踏まえても十分なニーズがある(ニーズを説明できる)
【必要性 Total判定】	
<input checked="" type="radio"/> A:高い(義務) <input type="radio"/> B:普通 <input type="radio"/> C:低い	
<Total判定の根拠など、必要性に関する補足説明>	
適正化法と品格法を基に透明性及び公正な競争を確保する。	
目標達成状況の点検	
<input checked="" type="checkbox"/>	活動に関する昨年度の目標は概ね達成できた
<input checked="" type="checkbox"/>	成果に関する昨年度の目標は概ね達成できた
<input type="checkbox"/>	「取り組み方針(改善方針)」など指標に表れない事項について昨年度の目標は達成でき
【目標達成状況 Total判定】	
<input type="radio"/> A:目標よりも大きな成果が得られた <input checked="" type="radio"/> B:概ね目標の成果が得られた <input type="radio"/> C:目標とする成果が得られなかった	
<Total判定の根拠など、目的達成状況に関する補足説明>	
入札制度について、市入札監視委員会からの提言を基に、市入札制度検討委員会で検討し改正を行った。	
実施内容・方法の点検	
<input type="checkbox"/>	社会情勢やニーズの変化等を踏まえると、サービス対象・水準を見直す必要がある
<input type="checkbox"/>	当該事業の受益者が特定の個人や団体に偏っている
<input type="checkbox"/>	民間事業者やNPOなどに任せられる業務がある
<input type="checkbox"/>	コストを下げる工夫が考えられる
<input checked="" type="checkbox"/>	成果を高める工夫が考えられる
【実施内容等 Total判定】	
<input type="radio"/> A:見直す余地があり直ぐに実施 <input checked="" type="radio"/> B:見直す余地があるが時間が必要 <input type="radio"/> C:見直す余地がない	
<Total判定の根拠など、実施内容・方法に関する補足説明>	
更なる透明性・公正な競争を確保するため入札制度の検討・改正に努める。	

■課題と対応方策

課題	電子入札の導入。
次年度における対応方策(改善方策)	電子入札の実施に向けた環境整備費用及び使用料の予算措置を行う。市監視委員会からの提言を受け、市入札制度検討委員会で検討する。
中長期的な視点での対応方策(改善方策)	入札制度等について、市入札制度検討委員会で検討を重ねる。

■今後の方向性

一次評価【課長評価】	
評価者	課長 石塚英幸 担当課名 検査管財課
事業の方向性	<input type="radio"/> このまま継続 <input checked="" type="radio"/> 改善して継続 <input type="radio"/> 休廃止(年後を目処) <input type="radio"/> 終了
事業費の方向性	<input checked="" type="radio"/> 増額 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減額
次年度の取組方針(改善方針)	電子入札を導入し透明性の確保、品質・競争性の向上、コスト縮減、事務の迅速化に努める。

二次評価【部長評価】

部長名	横瀬典生 担当部名 総務部
確認	<input checked="" type="checkbox"/> 確認